

# 令和 2 年第 1 回鹿角市議会定例会 代表質問

## □質問順位及び質問所要時間

3月9日（月）午前10時～

- |   |      |    |        |       |
|---|------|----|--------|-------|
| 1 | 田村富男 | 議員 | 鹿真会・公明 | (60分) |
| 2 | 田中孝一 | 議員 | 清風会    | (60分) |
| 3 | 倉岡誠  | 議員 | 誠心会    | (60分) |
| 4 | 吉村アイ | 議員 | 立憲民主党  | (40分) |

## □質問時間割当表

	10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	14:50
3月9日（月）	田村富男 (60分)	休憩 10分間	田中孝一 (60分)	休 憩	倉岡 誠 (60分)	休憩 10分間	吉村アイ (40分)	

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1	総合計画について (1) 目標人口の確保について  (2) 第6次総合計画の総括と第7次総合計画の位置付けについて  (3) 過疎計画と地方創生について			① 第6次総合計画の計画期間終了時には、人口3万人台を確保できる見通しはあるか。市の推計値とその根拠について伺う。  ① 第6次総合計画の主な事業5事業ほどについて、事業の実現によりどのような影響、あるいは満足度などがもたらされたのか伺う。  ② 第7次総合計画では、今後とも当分の間は人口減少が続く見通しの中で、どのような位置付けの10年にすることを考えているのか伺う。  ① 第7次総合計画において、過疎計画及び地方創生に関する計画は総合計画との整合性をどのようにして図っていくのか伺う。  ② 地方創生のこれまでの事業の成果について伺う。また、次の計画（地方創生）では、現在の計画の基本的なフレームを見直すのかどうか伺う。			
2	東京2020オリンピック・パラリンピック大会を活かした取り組みについて (1) 聖火リレーについて  (2) ホストタウンの推進について			① 沿道での応援や花輪スキー場、あんたらあでのセレブレーションでは、市民参加をどのようにして確保するのか伺う。  ① どのような交流を計画しているのか。また、市民の参加機会をどのように創出しようとしているのか伺う。			

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
3		森林経営管理制度について (1) 経営管理権集積の見通しについて		① 八幡平地区の森林所有者の62%が過去10年間に整備を行ったことはなく、今後の経営管理を市に委ねることを検討したいとした方が約8割とのことであるが、市はこの結果をどのように受け止めているか伺う。  ② 林政アドバイザーはどのようなことを期待して配置するのか伺う。			
		(2) 森林環境譲与税の活用について		① 森林環境譲与税の用途をインターネット等で公表することとされているが、今年度の用途と来年度の活用計画について伺う。			
4		今後の公営企業について (1) 持続可能な経営の確保について		① 市の公営企業についてどのような見通しを持っているのか。また、将来にわたって持続可能な経営を確保するために、どのような取り組みを進めていこうとしているのか伺う。			
		(2) 広域化や民営化について		① 人口減少とともに人口密度も低くなり続けるが、経営の広域化や民営化は考えられるのか伺う。			
5		災害対策としての河川堤防の改良について		① 平成19年の豪雨と同程度の風雨になった場合、また決壊するような堤防はないか伺う。			
		(1) 平成19年豪雨と同程度の風雨でも決壊しないか		① 平成19年の豪雨と同程度の風雨になった場合、また決壊するような堤防はないか伺う。			
		(2) 堤防の改良は進んでいるか		① 米代川堤防で強化改良が行われたところはどこか。また、秋田県の対応とそれに対する市の考えを伺う。			

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
6		敷地内全面禁煙及び屋内全面禁煙の一部解除について		<p>(1) 法律が認める喫煙場所及び喫煙専用室の設置について</p> <p>① 法律で認められている範囲内で喫煙場所や喫煙専用室を設けて、より多くの市民から納得してもらえる禁煙策をとることはできないか伺う。</p> <p>(2) 「市たばこ税」を財源に喫煙専用室の設置を</p> <p>① 市民センター等の喫煙室を廃止しないで喫煙専用室に、また、喫煙室のない市民センターには「市たばこ税」を財源として喫煙専用室を設置できないか伺う。</p> <p>(3) 民間における喫煙専用室の設置について</p> <p>① 受動喫煙防止がしっかりした喫煙専用室を多く設置することは、市民及び観光客を初めとする来訪者へのサービスの向上にもつながるものと考えているが、喫煙専用室を設置しようとするホテルや旅館などに、整備費用の一部を助成できないか伺う。</p>			

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	2	会派・政党名	清風会	代表質問者	田中 孝一	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1		第 6 次総合計画・後期基本計画の政策評価結果について	① 後期基本計画の最終年度の仕上げの年となり、これまでの政策評価結果が出されているが、36 施策の総合評価結果の中であまり計画どおり進んでいないとする施策があり、この施策の状況と効果、課題は。また、計画全体の進捗状況をどのように評価しているのか伺う。				
2		令和 2 年度の主要施策、予算について	① 令和 2 年度の最も主要とする施策、予算はどのようなものか。また、後期基本計画の政策評価を踏まえた、改善を図る施策の概要について伺う。				
3		地域産業の活性化について	① 高度産業人材、企業労働力の確保支援事業における人材の育成、就業支援を実施しているが、近年における状況として、有効求人倍率が高止まりして人手不足が生産の制限要因となり、また、製造業では人手不足から受注増に進めないでいる等、人材、労働力の確保が喫緊の課題とされることから、本市の状況と実績について、また、今後の取り組みについて伺う。				
4		商店街の活性化について	① 空き店舗が年々増加している傾向にあり、昔からの老舗として知名度を有した店舗も廃業している状況で、事業承継調査において、商店街組合員の 45%が、10 年以内の廃業もしくは事業承継に見込みがないとした回答があり、また、イベントの実施が商店街店舗の集客、来訪につながっていないとされ、本市としてがんばる商店街応援事業や商店街賑わい共創事業を実施しているが、効果、実績はどのような状況にあるのか。また、今後の取り組みについて、市の考えを伺う。				
5		観光の振興について	① 本市の観光振興では、本市の持つ地域資源（歴史、文化、自然、気候、食）を活用した着地型旅行商品の造成、展開につなげるとして、かづの観光物産公社の組織体制を強化し、積極的な取り組みをしているが、十和田・八幡平国立公園を中心とした誘客の状況は。また、2 つの道の駅が開業しているが、運営状況と運営上改善すべき課題はあるのか、市の考えについて伺う。				

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	2	会派・政党名	清風会	代表質問者	田中 孝一	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
6	農業振興対策について (1) 複合経営の推進について  (2) 冬季農業の確立について  (3) ブランド作目の推進について  (4) 販売の強化について  (5) 鳥獣被害対策について		<p>① 本市の農業経営形態の生産額の多い品目は稲作であるが、所得率の高い振興作目として、園芸作目（集約作目）が生産額の拡大に結びつくことから、関係機関との検討を密にして推進策を検討することが必要と思うが、市の考えについて伺う。</p> <p>① 複合経営の安定所得の確保には、周年出荷を図る作目の選択が必要とされ、本市は夏場の畑作作目として、夏秋野菜、果樹、花卉等が栽培されており、また、冬季農業として啓翁桜を推奨しているが、作目の有利性を持つ菌茸類も冬季農業として検討する必要があると思うが、市の考えについて伺う。</p> <p>① 本市のブランド作目としている淡雪こまち、北限の桃、啓翁桜は、拡大推進を図る支援をしているが、これまでの支援の内容と拡大の推移について、また、現状における推進拡大の振興策について伺う。</p> <p>① 平成 28 年度から販売力の強化を図るとしているが、これまでの取り組みの推移と効果について、また、今後どのような取り組みを図るのか、市の考えについて伺う。</p> <p>① 野生鳥獣による農作物への被害額は全国的には年々減少する傾向を示しているとされるが、野生鳥獣による被害は、営農意欲の減退、耕作放棄地や離農の増加などをもたらす農山村に深刻な影響をおよぼしているとする。本市におけるこれまでの農作物被害の状況は、また、農作物被害防止対策をどのように考えているのか伺う。</p>				
7	道路網の整備について (1) 八正寺久保田線について		<p>① 安全安心な道路交通の確保から「八正寺久保田線」の道路整備については市民の強い要望があり、これまで、基本設計や詳細設計を策定して関係者協議を進めていくとした平成 27 年度の施政方針から数年経過しているが、現在の計画の進捗状況について伺う。</p>				

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	2	会派・政党名	清風会	代表質問者	田中 孝一	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
8		地域おこし協力隊について (1) 就業支援の強化について		① 地域おこし協力隊の退任後の就業がネックとなり、協力隊員の県内定住が5割とされるが、本市の就業状況及び支援策はどのようなものか。また、定住するための就業支援策を強化する必要があると思うが、市の考えについて伺う。			
9		高齢者福祉対策について		① 本市における高齢者福祉の充実については、計画通り進んでいると評価され、市民アンケートでは、効果度第4位、要推進第11位という結果であり、事業の推進も細部に対応している状況だが、現在自治会における一人暮らし世帯を推測すると大幅に増加するものと身近に感じ、このような状況で民生委員の活動は大変重要であり、一人暮らし高齢者への見守り支援システムをさらに充実させる必要があると思うが、市の考えについて伺う。			
10		子育て支援の充実について		① 保育士確保策で保育補助者の確保も厳しい状況にあり、市全域での保育士の充足を図るためにも保育所・認定こども園の統廃合も検討をしているとしているが、実態はどのような状況にあるのか、市の考えについて伺う。			

令和 2 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派・政党名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
----	---	--------	-----	-------	------	--------	-----

質 問 事 項	質 問 要 旨
---------	---------

<p>1 基本目標 1 の「活力や賑わいを生むまちづくり」について                  (1) 農業経営体の育成強化について                   (2) 林業の振興について</p>	<p>① 近年、「スマート農業」という言葉は決して珍しいものではなくなってきている。ロボットやAIを活用したスマート農業は作業の省力化・危険な重労働からの解放・省力化による大規模生産・データを利用した多収及び高品質生産などその利用価値に期待が高まっているとはいえ、実際に農業に従事している人たちが求めているものと、推進されているスマート農業との間にはギャップがあるようにも思える。農地の集積を進め大規模化が進み一農家では対応できない状況が生まれ、小規模農家は離れざるを得なくなり、そのことが基幹産業である農業の様変わりを招くことになる。そこに大手企業の参入が懸念される。その後の流れは言うまでもなく利益追求であり、採算が合わなければ撤退するといった流れは誰も望まないものである。そこで、スマート農業の実現に向けた取り組みの現状と今後の展望について、また、スマート農業普及に立ちはだかる壁をどう解消していくのか伺う。</p> <p>① 森林環境譲与税は、向こう5年間は暫定的に全国の県・市町村に配分される。この財源を活用した「森林経営管理制度」により、森林所有者が管理できてない森林を市町村に預け、所有者に代わって市町村が管理することになる。この税の使い道は林業振興と森林環境の健全化のためとの縛りがあり、この制度の運用には、専門的知識が必要になると考えるが、担当者としてプロパー職員を1人育成もしくは採用すべきと考えるがいかがか伺う。</p> <p>② 森林環境譲与税の配分率は都道府県が2割、市町村が8割となっているが、市町村への配分は50%が「私有林人工林面積」、20%が「林業就業者数」、30%が「人口」比率になっている。森林のない林業従事者もない都会にも配分されるが、例えば当市と交流のある葛飾区に働きかけて、木材利用の促進や普及啓発を行うことや、公共施設の建設に鹿角産材を使っていただき林業を支援していただく選択肢もあると思うがいかがか伺う。</p>
---	--

## 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	3	会派・政党名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
2		基本目標 2 の「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」について					
		(1) 地域福祉の充実について					
		(2) 地域医療の充実について					
		3 基本目標 3 の「安心して住み続けられるまちづくり」について					
		(1) 公共交通の確保について	<p>① これまでの福祉サービスは、高齢者・障害者・児童その他対象者ごとに専門的サービスが充実してきたところではあるが、時代の趨勢と共に高齢者・障害者・児童・生活困窮者など課題も多く、家族からの支援が難しい高齢者も増えるなど、様々な対応が求められ個々の十分な対応は難しくなっている。継続的な伴走型支援を開始することのことがだが、社会福祉協議会に事業委託することで協議会は事業対応に当然ながら職員の不足が生じるものと思われ、そこは十分に協議されていると思うが、人材の確保・任用はどれだけ増えるのか伺う。</p> <p>① 高齢化は急速に進行し、誰も経験したことのない超高齢化社会を迎えることが予測されている。このため疾病構造も慢性疾患中心型になるとともに、高齢者を中心とする要介護者の大幅な増加が予想される。国民負担の増や公費負担の限界をめぐる問題が浮上してくるものと思うが、行政としての施策はあるのか伺う。</p> <p>① 八幡平地区の公共交通空白地域を解消するため、予約型乗合タクシーを運行し、地域の特性やニーズに応じた持続可能な移動支援体制を整えるとのことだが、これまでの公共交通空白地域を解消する取り組みと、今後の空白地域への対応について伺う。</p> <p>① 空き家バンクの登録を促進し有効活用が図られているが、空き家の利活用並びに売買の実績を伺う。また、「危険空き家」・「管理不全な状態の空き家」はどれだけあるのか、その対策・手立てはされているのか伺う。</p>				
		(2) 地域安全対策の充実について					

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	3	会派・政党名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
4		基本目標 4「豊かな心と文化を育むまちづくり」について (1) 生涯学習の推進について		① 大湯環状列石について、「北海道・北東北縄文遺跡群」の世界遺産登録実現に向けた認知度の向上と、大湯環状列石の価値と魅力を世界に向けて発信していくとのことだが、来年度に入り、現地調査が行われると思うが、その対策を何か考えているのか。それとも登録されてから考えるのか。現時点で登録された時と同じようにアピールが不足なことを改善して対応すべきと考えるがいかがか。			
5		基本目標 5「参加と連携を促進するまちづくり」について (1) 移住・定住の促進について		① 移住・定住を進める手立ては、目標としている仕事が一番のネックになっている。「田舎暮らし」・「地方暮らし」だけでは限界がある。これまでコンシェルジュの方やNPO法人の方々の尽力で一定の成果を上げていただいているが、いつか進まなくなることが予想され、移住・定住の皆さんに起業を求めることも限界があると思うところでもある。移住・定住される方々の希望を聞き新たな事業を起こすぐらいの気構えが必要ではないかと考えるがいかがか伺う。			
		(2) 第 7 次総合計画の策定について		② 第 7 次総合計画については、まだこれからであるが、市長は、鹿角全中高校生のアンケートや各校 2 人の代表による「かづの未来の若者会議」の提案をどのように受け止めどのように生かしていくのか伺う。あわせて、「かづの未来会議」のこれまでの経緯経過で披瀝しても良い内容があれば、お聞きしたい。			
6		教育執行方針について (1) 「確かな学力を身に付け、豊かな人間性と社会の中でたくましく生き抜く力の育成」について		① 電子黒板やタブレット等の ICT 機器の活用を図り、情報モラルの視点を持った学習活動に取り組むとともに、児童生徒が興味関心を抱く魅力ある授業づくりとある。今、取りざたされているプログラミング教育が必修化されると聞いているが、どのような内容なのか、なぜ必修化なのか、また、1 人 1 台タブレットは可能なのか。来年度から実施されることで「学習指導要領」が改訂されるとのことだが、詳細について伺う。			

# 令和 2 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	4	会派・政党名	立憲民主党	代表質問者	吉村 アイ	質問所要時間	40分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1		人口減少対策について (1) 不妊・不育症の治療について  (2) 出産祝い金について		① 過去3年間の治療数から、今後の治療数について伺う。  ② 晩婚化を鑑み、補助金の受給年齢を引き上げることができないか伺う。  ③ 市内に専門医がないことから、旅費の補助があるのか伺う。			
2		福祉の充実について (1) 自殺対策について  (2) 高齢男性自殺対策について  (3) 発達障害について		① 国の「自殺対策基本法」、県の「秋田県自殺対策計画」を踏まえ、全国的に高い水準で潜在的に自殺リスクが高い本市として、「自殺対策計画」策定の位置付けを伺う。  ① 男性自殺者を年代別に見ると、65歳以上の高齢者が全体の半数に近い。その対策をどのように取り組むか伺う。  ① 小学校入学前に発達障害と思われる子供は過去3年間でどれくらいであったか伺う。  ② 発達障害に対する啓発活動はどのように行っているか伺う。			
3		世界遺産のまちづくりについて (1) 北海道・北東北の縄文遺跡群登録について  (2) 市民への周知活動について		① 遺跡を分断している県道について、イコモスの事前調査ではどのような意見があり、県とどのような協議をしたか伺う。  ① 大湯環状列石世界遺産登録について市民の認識はまだ低いと思われる。広報・イベント情報等以外の周知活動について伺う。			